

国土交通省が実施する「平城宮跡歴史公園スマートチャレンジ」に参画

西日本電信電話株式会社 奈良支店（支店長：奥野 順也、以下 NTT 西日本）は、国土交通省が奈良県で実施する「“平城宮跡歴史公園スマートチャレンジ”～新技術を活用した公園のスマート化に向けた社会実験～※¹」に参画します。

平城宮跡歴史公園スマートチャレンジは、国営公園を舞台として AI や IoT などの新技術を活用し、公園の抱える課題の解決や、公園利用者サービスの創出などによる一層の魅力向上を目指すものであり、産官学コンソーシアムのもと、民間事業者からの提案に基づく社会実験を実施し、公園サービスとしての実用化を目指すとともに、奈良のまちづくりにおけるスマートシティの実現に向けて取り組むものです。

NTT 西日本は、本社会実験における公募テーマの一つである「データプラットフォーム」において選定され、各テーマの選定事業者が公園内での社会実験等を通じて取得する各種データ（モビリティ移動データ、Wi-Fi 人流データ、ドローン空撮データ等）を一元的に蓄積し、効率的・効果的に分析・活用できるデータプラットフォームを構築し、本格運用に向けた検証を行います。

※ 1 「平城宮跡歴史公園スマートチャレンジ」の概要は、【別紙 1】を参照願います。

国土交通省近畿地方整備局プレスリリース

<https://www.kkr.mlit.go.jp/news/top/press/2019/20191011-2.html>

「平城宮跡歴史公園スマートチャレンジ」HP

<https://www.kkr.mlit.go.jp/asuka/heijo/psc/>

1. 社会実験の実施内容

各事業者が簡単にデータ蓄積※²できるとともに、「データ見える化機能（可視化ツール）」「データ分析自動化機能（機械学習ツール）」及び「個人情報の匿名化（匿名加工ツール）」を利用可能なデータプラットフォームを構築し※³運用します。

※ 2 社会実験におけるデータ収集・活用イメージは、【別紙 2】を参照願います。

※ 3 価値創造をめざしたプラットフォームの構築は、【別紙 3】を参照願います。

2. 実施時期

2019年11月上旬～2020年2月末（予定）

本件に関するお問い合わせ先

西日本電信電話株式会社 奈良支店

ビジネス営業部 菅原、池田

TEL : 0120-214-440（平日 9:00～17:00）

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようお願いします。

審査 19-1469-1

【別紙 1】 平城宮跡歴史公園スマートチャレンジの概要

国土交通省は、国営公園の抱える課題テーマ及び解決の方向性を設定し、「平城宮跡歴史公園」をフィールドとした社会実験を行う民間企業等からの提案を公募。

＜募集テーマ＞

・①～⑥のテーマに対して、課題抽出・実証内容・ビジネスモデル等提案。

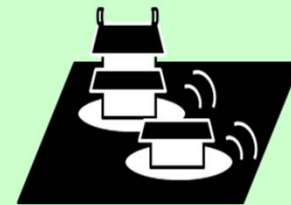
① 新たなモビリティサービス

自動運転等による次世代型モビリティを活用して、安全かつ効率的な園内移動を実現。



② AR技術を活用した歴史体験サービス

最新のAR技術等を活用して、公園の有する文化財等に関する歴史体験サービスを提供。



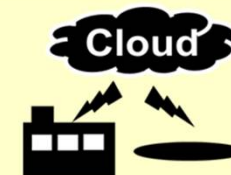
③ アプリケーションによる公園情報の受発信サービス

携帯向けアプリを活用して、園内の利用情報やイベント情報等を、多言語で送受信できるシステムを構築。



④ クラウドによる施設管理の効率化

施設管理の効率化・迅速化を図るため、クラウドシステムを活用した公園台帳システムを構築。




⑤ その他

公園の利用や維持管理に飛躍的な向上に資するもの（例：ドローン、AIカメラ等）

⑥ データプラットフォーム

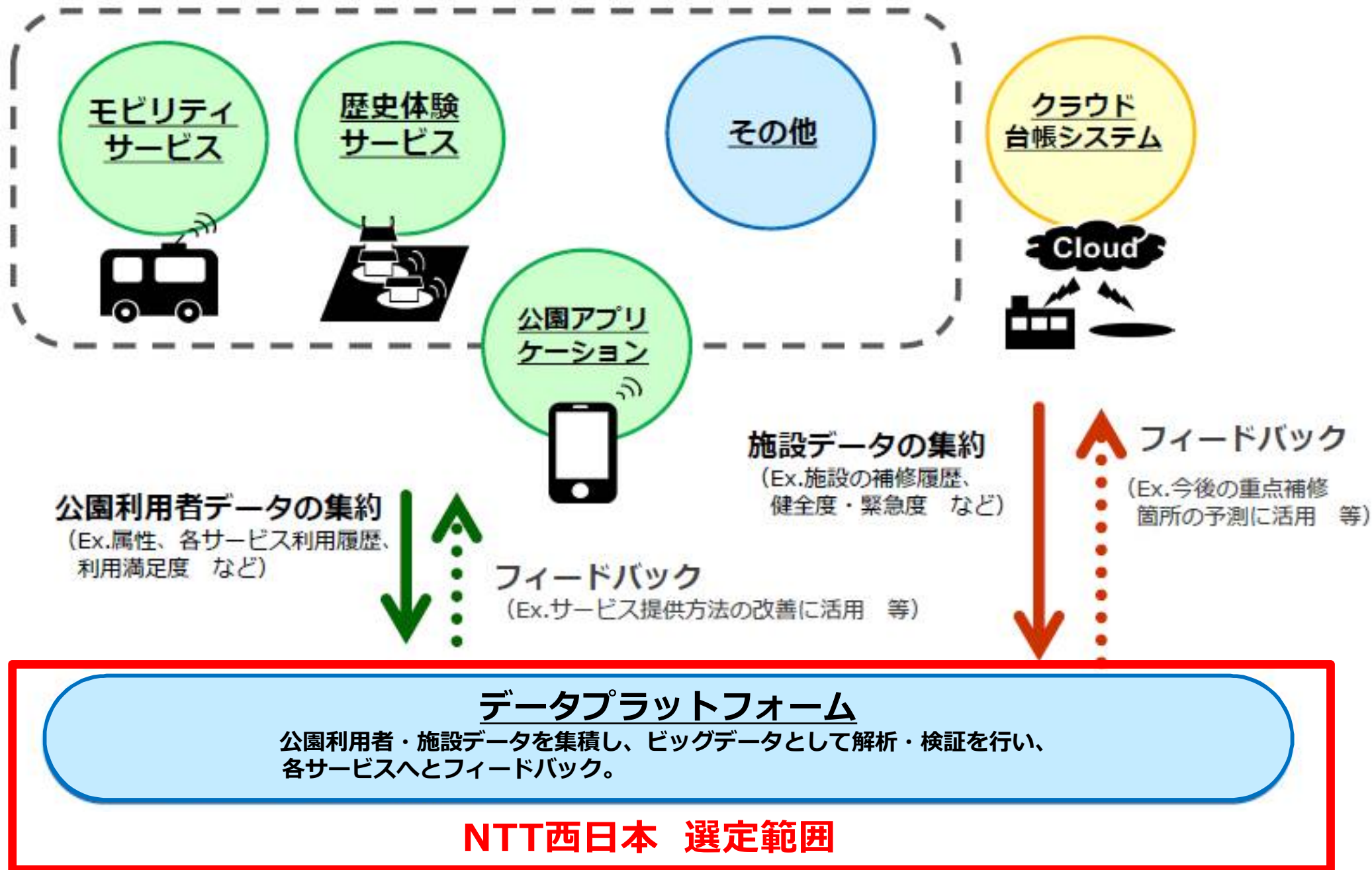
①～⑤で取得される各種ユーザーデータの収集の仕組み及び当該データの統合・分析・共有のためのプラットフォーム

 : 公園利用サービス

 : 公園維持管理

 : その他

【別紙 2】 社会実験におけるデータ収集・活用イメージ



【別紙3】 価値創出をめざしたプラットフォームの構築

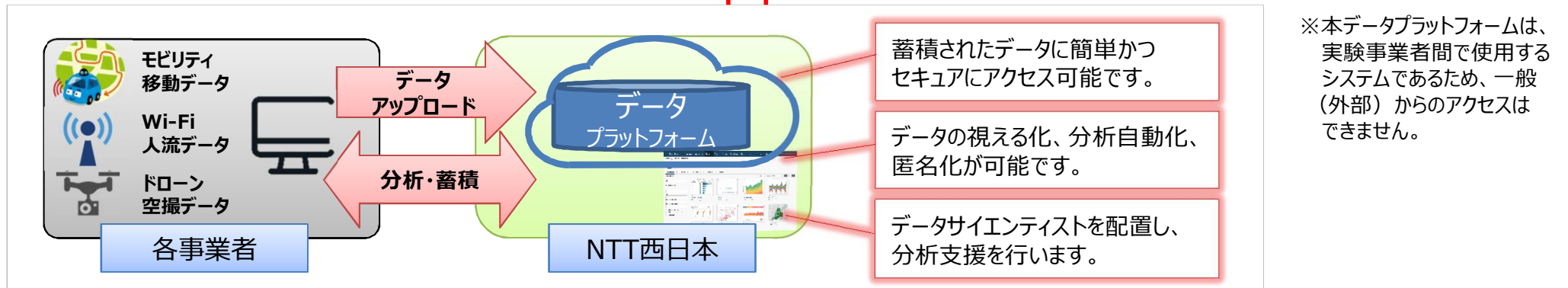
各事業者が園内での社会実験等を通して取得する各種データ（モビリティ移動データ、Wi-Fi人流データ、ドローン空撮データ等）を一元的に蓄積し、効率的・効果的に分析・活用できるデータプラットフォームを構築し、本格運用に向けた検証を行います。

＜今回チャレンジする新技術等＞

- 各事業者が簡単にデータ蓄積ができるとともに、下記の各種機能を利用可能なデータプラットフォームを構築し運用します。
 - ・ データ見える化機能 [可視化ツール]
 - ・ データ分析自動化機能 [機械学習ツール]
 - ・ 個人情報の匿名化 [匿名加工ツール]

＜社会実験について＞

- 実施内容：・事業者に対し、各種データ、コンテンツを活用できるデータプラットフォーム環境を構築し運用します。
 - ・データ収集後、自らデータを分析・活用することで新たな気づきや価値創出につなげます。
- 期間：2019年11月上旬～2020年2月末（想定）



＜公園サービス・まちづくりへの展開の将来イメージ＞

「プラットフォーム」とは、各種データを提供する側と利用する側が結びつく場所であり、各種データの蓄積、結合や分析により、以下の新たな価値創出をめざします。

- ☆ 人流データや各種公共交通運行データを活用することで、更なる**公共交通サービスの利用促進、利便性向上**をめざします。
- ☆ イベントデータや駐車場利用データ等のリアルな情報共有により、**便利でスマートな公園サービスの充実・実現**をめざします。
- ☆ サイネージやVRによる観光地アピール等、**ICTを活用した観光資源の再利用**をめざします。

将来的には、各種データの標準化やリアルタイム性等機能向上をめざします。

